

# 新しい

# 中央図書館は

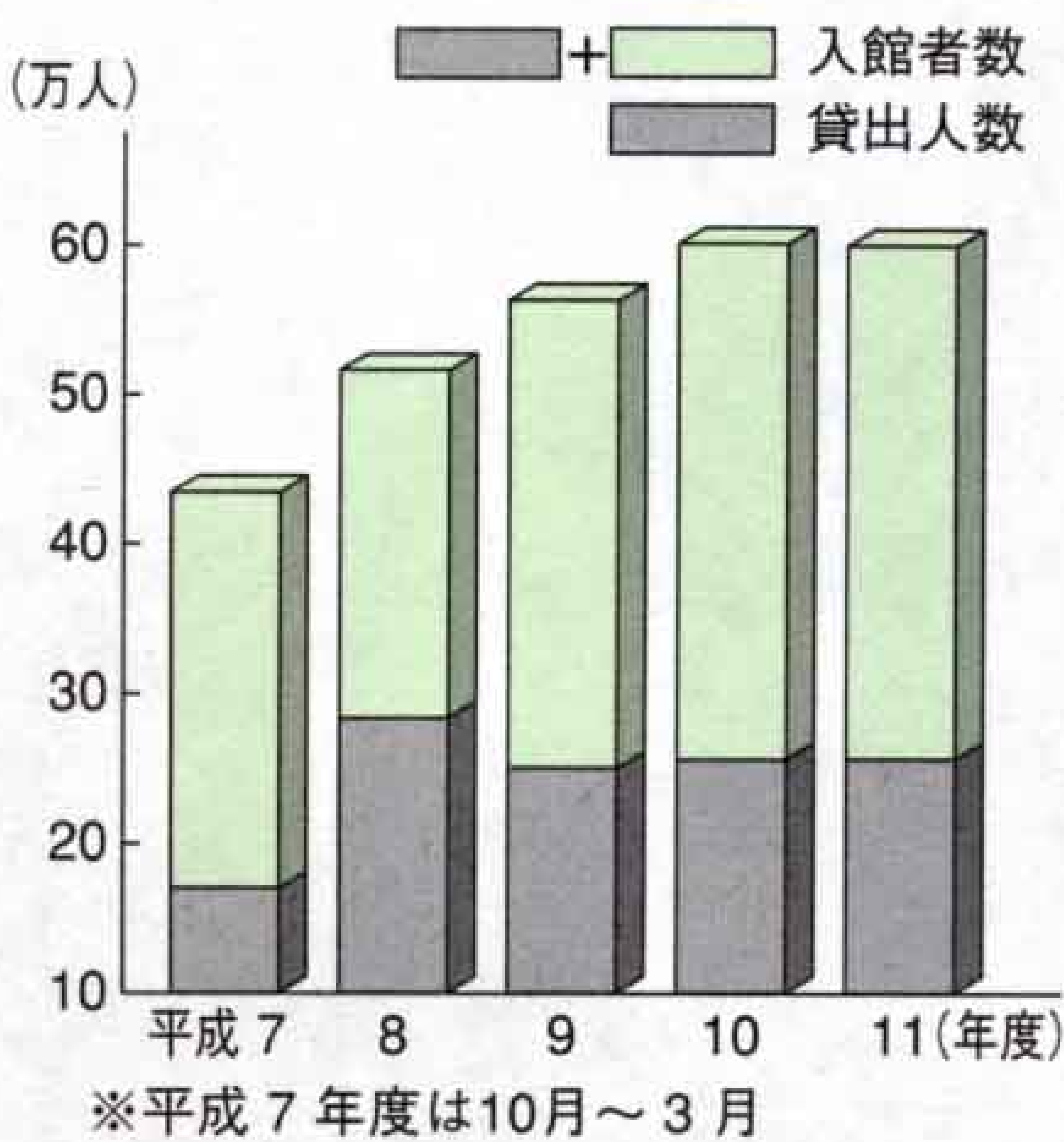
# 五周年を迎えます

まもなく

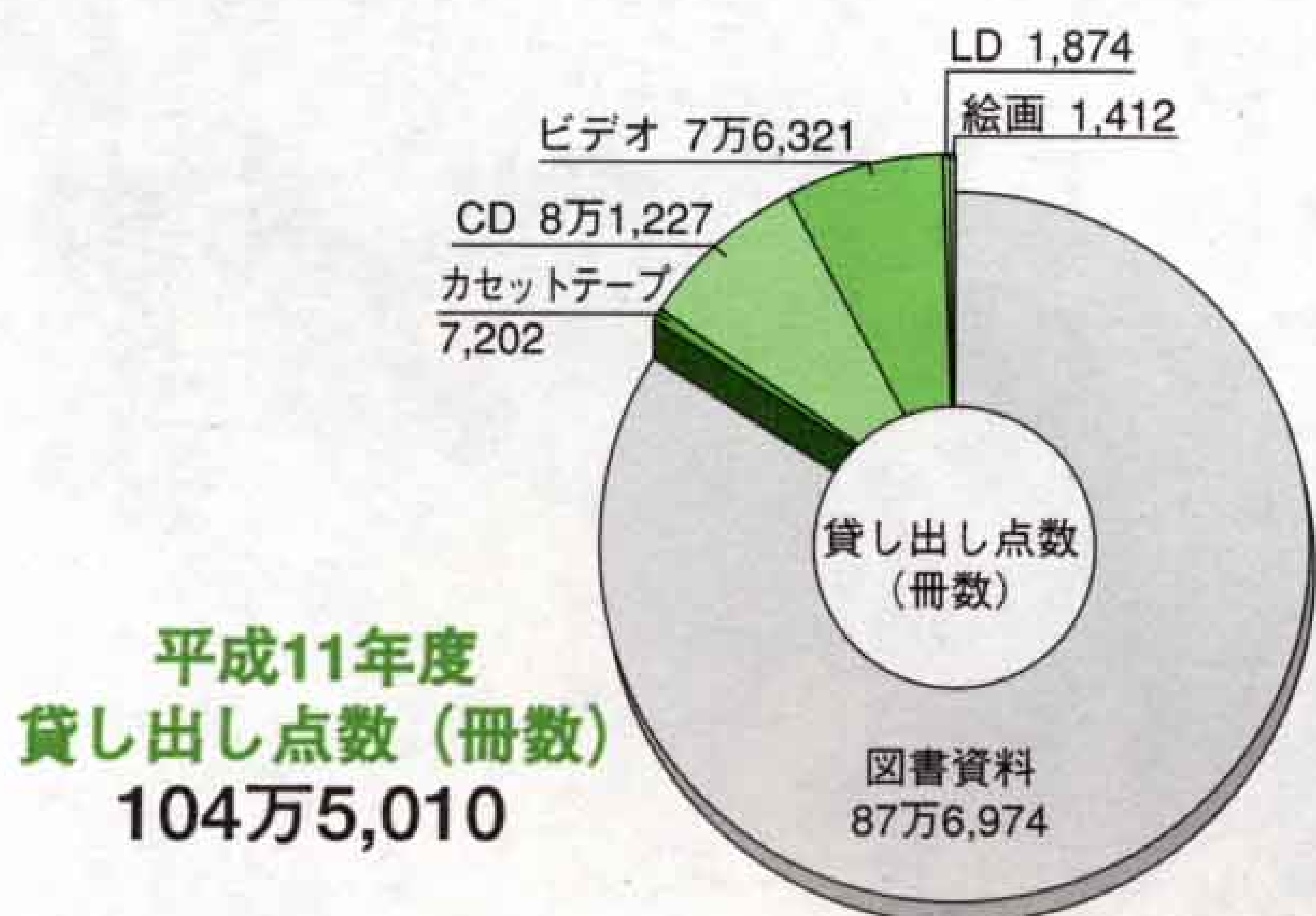


「本と人が会う場所」「人と人が会う場所」として、市民の皆さんのご意見を取り入れながらつくり上げた新中央図書館。開館以来多くの方がここで本と出会い、人との交流を深めてきました。

今回は、ことし10月に開館5周年を迎える中央図書館を特集します。



★中央図書館の利用状況  
中央図書館には、約三十六万冊（うち一階フロアに十七万冊）の図書資料が收藏されています。貸し出し人数は、年平均二十五万人以上、学習室や視聴覚室などの利用者を含めた入館者数は年平均五十五万人に上り、毎年多くの人に利用されています。



★貸し出し点数 (冊数) は県下一位  
貸し出し数は、図書資料のほかにAV資料（カセットテープ、CD、ビデオなど）を含めると平成八年度から年間百万点を超えており、単独図書館では県下で最も多くなっています。AV資料では、CDとビデオの貸し出しが全体の九割を占めています。



# 私たち中央図書館を利用しています

## 図書館は宝の山です

毎週水・木曜日の十九時までの開館時間延長は、昼間勤めに出ている私にとって大変助かっています。欲を言うとなら毎日やってほしいですね。

若いとき小説家を目指していたこともあり、今でもジャンルを問わず一日二、三冊のペースで本を読んでいます。本は作者との対話だと思っています。また、本を読むことでストレスの解消をしています。私にとって図書館は宝の山です。若い人ももっと図書館を利用して、本を読んでほしいと思います。



高橋 稔さん  
(大淵)

## 明るい雰囲気でも子供も気に入っています

子供が一歳を過ぎてから、週二回絵本コーナーやおはなしのへやで子供に本を読んで聞かせています。また第一・三土曜日の「おはなし会」には、子供が楽しみにしているので欠かさず来ています。絵本コーナーは周りの雰囲気

気がとても明るく安心して子供と一緒に本が読めます。絵本もたくさんあるので、どの本を子供に読ませようのか悩むことがあります。幼児向けの本を紹介してくれるお勧めコーナーが欲しいですね。



篠田あずささん  
晃佑くん  
(厚原)

## 朗読サービスが楽しみです

視力が落ち、大好きな本が読めなくなっていたとき、お嫁さんから朗読サービスの話を聞き、春先ごろから利用しています。

心も体も引きこもりがちだった私ですが、ボランティアの皆さんがとても親切にして

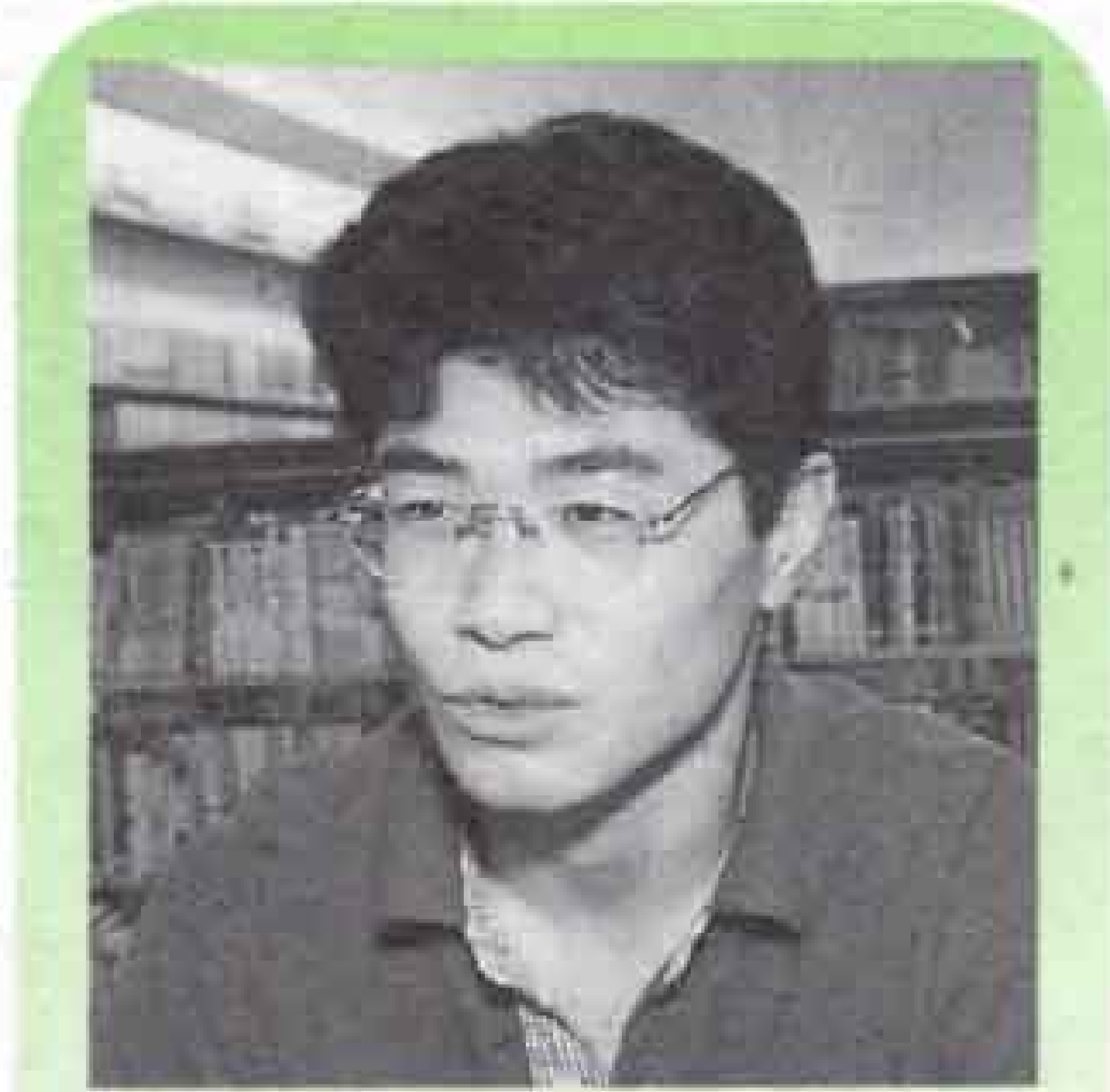


山本 辰子さん  
(柚木)

## 探していた資料がすぐに見つかりました

教員試験が近いため、集中して勉強ができる静かな場所を探していたところ、知人から図書館の学習室を紹介され、このところ毎日学習室を利用しています。

以前住んでいた街の図書館には、このような部屋がなかった。このように驚きました。また、専門書の種類もたくさんあり、探していたものをすぐに見つけることができました。ゆとりの時間が持てるようになったら、ゆつくりと本を読んだり、AVコーナーを利用したりしたいですね。



城 正樹さん  
(中島)

## 中央図書館の事業紹介

### ◎移動図書館車「ふじ号」による館外サービス

図書館から遠いところに住んでいる人のために、巡回バス「ふじ号」が市内二十四か所を回り、本の貸し出しをしています。

日時、巡回場所については広報ふじ二十日号に掲載しています。また、市内十八の公民館に配本サービスをしています。



移動図書館車「ふじ号」

### ◎障害者サービス

目の不自由な人や来館が困難な人に、録音テープに収録した録音図書の郵送サービスをしています。

また、本を読んで聞かせる対面朗読サービスも行っています。(いずれも事前に登録が必要です)

館内には大活字本や点字資料、さわる絵本なども用意されています。

### ◎児童文学講演会

子供と絵本に対する理解を深めるため、母親を対象に開催しています。

### ◎ストーリーテリング(語り聞かせ)講習会

幼児や児童、小学生を対象に、絵本や童話などを語り聞かせるストーリーテラー(語り手)の講習会です。

### ◎古文書解読講座

富士市に関係する古文書の解読実習講座で、入門・初級・中級・上級コースがあります。

### ◎セミナー読書会

受講生全員に同じテキスト本を用意し、月に一回の読書会を開催します。

### ◎おはなし会

幼児・児童を対象に毎月第一・三土曜日の十四時から、絵本や紙芝居などの読み聞かせを開催しています。

また、毎月第一日曜日の十三時三十分から「お楽しみ会」を開催し、楽しいお話をしています。



## 中央図書館の利用案内

### ■図書館の上手な利用法■

#### その1 利用者登録をする

まずは登録をしてください。免許証や保険証など、身分が確認できるものをお持ちください。

その場で「利用者カード」を無料で発行します。1枚あれば市内4図書館どこでも利用できます。



#### その2 何でもお聞きください

書名がわからないときや調べたいこと、知りたいことなど何でも気軽に職員に聞いてください。

図書館職員は、あなたと資料をつなぐ役目をしています。

#### その3 どんどん図書館を利用する

皆さんが図書館を利用すればするほど、ますます利用しやすい図書館となっています。

#### ■開館時間

九時～十七時  
水・木曜日は十九時まで

#### ■休館日

月曜日、国民の休日、図書整理日(月末)  
※重なったときは、その翌日も休館日となります。  
年末年始、特別整理日(四月中の二週間以内)

#### ■借り方

利用者カードと一緒にサービスデスクまでお持ちください。

#### ■本、雑誌、紙芝居

一人十冊まで、期間は二週間以内

#### ■AV資料

一人三点まで、期間は一週

#### ■複製絵画

中学生以上一人一点、期間は一月以内

#### ■返し方

サービスデスクにお返しください。図書館が閉まっているときは、正面玄関出入口のブックポストにお返しください。

#### ■検索(本を探す)

ただし、AV資料と複製絵画は直接サービスデスクに返してください。  
オーパック(端末機)を使って検索できます。中央図書館や地域館の蔵書の有無や貸し出しの状況がわかります。



中央図書館  
山本 汎 館長

## いつでも、どこでも、だれでも 利用できる施設に

利用者に支えられながら  
歩んでいます

平成七年に開館したこの図書館は、昭和六十二年から富士市図書館協議会を中心に、多くの皆さんの意見や要望などを伺ってつくり上げた図書館です。

現在も利用者の皆さんに支えられながら、市民の利用に役立つ社会教育施設として成長しています。

図書館を土台に将来を  
広げてほしい

まだ言葉もわからない幼児を連れてお母さんが、一緒に本を選びながら読み聞かせをしている姿をよく見かけます。

図書資料を通して、親子のふれあいを大事にし、子供が心豊かな人に育ってほしいと願う親が多くなってきていると感じています。

また最近では、若者による暗いニュースを耳にしますが、自分に目標を掲げてしっかりとした考えを持った若者もいます。図書館を土台にして、自分の将来の可能性を広げていってほしいと思います。

市内四図書館のネットワ  
ークを充実します

図書館は市民の皆さんの生涯学習を支援する施設です。そのためには、市民各層のニーズをとらえた図書資料をそろえていかなってはいけません。また、富士市にかかわる郷土資料を収集していくことも図書館の務めだと思っております。

本は、情報や知識を与えるものだけではなく、心を豊かにしてくれます。

今後はこの図書館と三地域館（西・東図書館、富士文庫）のネットワークをさらに充実させ、「いつでも、どこでも、だれでも利用できる施設」を目指していきます。

## 図書館からのお願い

### ◎資料を大切に

図書館の資料をなくしたり汚損・破損したりした場合は、必ず職員に申し出てください。図書館資料は市民全体の貴重な財産です。大切に扱ってください。

切り取られた雑誌や新聞は資料価値がなくなります。ほかの利用者にも迷惑がかかりますので、切り取りなどは絶対にやめてください。



### ◎返却期限を忘れずに

延滞している資料が一点でもあると、貸し出しはできません。

### ◎閲覧した資料はもとの場所に

戻すところがわからなくなったら、近くのブックトラックかサービスデスクに置いてください。

### ◎落ちつきのある図書館に

お子さんが走ったり大声を出したりしないように注意してください。閲覧室では周りの人に迷惑をかけないよう小さな声で話をしてください。また、携帯電話の使用は公衆電話の付近か建物の外でお話ください。



### <仮称>

### 中央図書館分館

中央図書館の機能強化を図るため、図書館南側の旧東文堂

跡地を中央図書館分館として整備しています。

★8月10日(木) 開館 (予定)

★駐車場 76台 ★学習室 60席

★国際交流コーナー

友好都市中国嘉興市と姉妹都市米国オーシャンサイド市の交流事業の展示

※10月から会議室、市民ギャラリーが利用できます。

※平成13年度以降に、AVコーナーが移転します。

問い合わせ  
中央図書館 ☎51-4946